

よしかわえいじ

● 吉川英治文学賞 ●

主催：(財)吉川英治国民文化振興会 発表：3月中旬

正賞：賞牌 副賞：賞金 300 万円

対象：発表済みの小説、戯曲、評論、随筆など（非公募）

特徴：吉川英治の功績を記念して 1967 年に創設された吉川英治 3 賞のひとつ。他に吉川英治文化賞、吉川英治文学新人賞がある。第 1 回受賞者は松本清張。第 4 回は柴田錬三郎、第 6 回は司馬遼太郎と錚々たる作家が受賞している。

【主な受賞作】

- 第 2 回(1968)『徳川家康』山岡荘八
- ★ 第 9 回(1975)『落日燃ゆ』城山三郎
- 第 17 回(1983)『序の舞』宮尾登美子
- 第 42 回(2008)『中原の虹』浅田次郎

Pick Up



【第 38 回受賞作】
『楊家将』北方謙三/著
(PHP 研究所 2003)

えどがわらんぼ

● 江戸川乱歩賞 ●

主催：(社)日本推理作家協会 発表：『小説現代』7月号誌上

正賞：江戸川乱歩像 副賞：賞金 1000 万円

対象：広い意味での推理小説で未発表のもの（公募）

特徴：江戸川乱歩が自身の還暦記念に基金を提供して創設した賞。新進作家の発掘と育成を目的としている。受賞作は講談社から出版される。他に推理小説を対象とした賞に、日本推理作家協会賞や「このミステリーがすごい！」大賞などがある。

【主な受賞作】

- 第 15 回(1969)『高層の死角』森村誠一
- 第 24 回(1978)『ぼくらの時代』栗本薫
- 第 39 回(1993)『顔に降りかかる雨』桐野夏生
- ★ 第 50 回(2004)『カタコンベ』神山裕右

Pick Up



【第 31 回受賞作】
『放課後』東野圭吾/著
(講談社 1985)

● 日本ファンタジーノベル大賞 ●

主催：読売新聞東京本社、清水建設（後援：新潮社）

発表：8月上旬 大賞：賞金 500 万円 優秀賞：賞金 100 万円

対象：未発表の創作ファンタジー小説（公募）

特徴：プロ・アマ問わず応募できる。受賞作は新潮社から出版される。毎回レベルが高く、独創的で自由な発想にあふれる作品が受賞している。この賞からデビューした人気作家に、森見登美彦（第 15 回大賞）や富中恵（第 13 回優秀賞）らがいる。

【主な受賞作】

- ★ 第 1 回(1989)『後宮小説』酒見賢一
- 第 3 回(1991)『バルタザールの遍歴』佐藤亜紀
- 第 10 回(1998)『オルガニスト』山之口洋
- ★ 第 13 回(2001)『太陽と死者の記録』粕谷知世

Pick Up



【第 18 回受賞作】
『僕僕先生』仁木英之/著
(新潮社 2006)

?

Q.一番賞金の高い賞は？

A.「このミステリーがすごい！」大賞(1200万円)やポプラ社小説大賞(2000万円)などが抜きん出て高額のように。賞金が高い文学賞はやはり人気があり、応募総数が多いようです。